事業番号	08 06 15	事業改善シート(24年度実施事業分)		予算要求 🗆]予算案 ■点検	
事 業 名	曲北江	生化支援事業(遊休農地活用総合対策事業)	担当	部局	農政部	
事業名	展刊 伯賈	出人孩争来(班孙辰地伯用稻百为界争来)		課·室	農村振興課	
<参考>	プロジェクト	3 環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト	課	E-mail	noson@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年 計画	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業				
	旭泉の総合印政	2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産	実施期間		H18 ~	

1 事業の概要

目指 [·]	す姿	耕作放棄地の解消が進み、農地の有効利用による地域農業の持続的な発展が図られる。														
現	伏	農林業センサス(2010年)では、県内に1万7千haの耕作放棄地が存在しており、耕作放棄地率は18.7%で全国平均の10.6%を上回る状況であることから、県による積極的な支援により、再生活用を促進する。														
県がl する ³		□法令等義務 □内部管理 □県でなければ実施不可 【左記の説明、根拠法令等】 ■民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 □その他()														
		1	成果目標(H2	4)					1							
		耕作放棄地再生面積: 50ha														
		2	事業内容												(単	位:千円)
			項	. 目	9	実施方法	去	H24事業実績						H24		H25
			^				1 dele Nels II e				(当初)	(決	算)	(当初)		
			1 農業参入サ	ポート事業	3	業務委託		農業法人等の遊休農地活用ニーズを収集し、マッチングによる再生活用を促進。マッチング件数(調整中含む):33件(45ha)						53	10,053	_
			2 地域営農サポ	ート組織支援	事業	補助金	全 中山間:	中山間地域の営農集団による再生を支援。5地区:1ha					5,00	00	4,295	_
事業内容			3 棚田地域遊休鳥	農地解消支援	事業	補助金		棚田地域等における再生農地の利用活動を支援。 1地区:0.1ha						00	200	920
			4 遊休農地解消	当・活用推進	事業	直接	地方事 5ha	地方事務所による市町村への支援活動:上小1地区 5ha						00	51	400
			5 遊休農地解	消支援事業	Ě	補助金	市町村	市町村における調整活動等を支援						00	0	1
		6 経常経費 直接 県段階の推進							動を実施				10	00	71	100
			7 中山間集落営	:農組織支援	事業	補助金	放棄地たり地域	(H25新規事業) 中山間等担い手が著しく不足し耕作 放棄地率が高い地域において、集落営農が将来にわ たり地域の中心となって農業を担っていくために必要な 農業機械導入等を支援						_	-	4,000
					·							合計	19,0	53	14,670	5,420
	区	分	(単位:千円)	22年度	23年	庶	24年度	25年度	1			成里日	標の達成	伏況		
		-	(年位:〒円/ 年度繰越	22十汉	204	汉		20十尺				現況	H24			H25
子	;		当初予算	12,148	6	,270	19,053	5,420		項目		(見込)	目標	成果	達成状況	
事解	Į.		補正予算	-9,847	-5	,720	-3,200			耕作放棄地再生	而積	51ha	50ha	51ha	達成	50ha

	_	— » (— III)		' /~	1 /~	~	1 /2
	7		前年度繰越				
	予算	当初予算		12,148	6,270	19,053	5,420
事	額		補正予算	-9,847	-5,720	-3,200	
業	í		合計(A)	2,301	550	15,853	5,420
~			国庫支出金	1,774			
⊐	Aの						
ス	財源			200	200	10,253	920
^			一般財源	327	350	5,600	4,500
۲	決	決 算 額(B)		2,241	275	14,670	
	概	算	職員数(人)	2.70	0.50	5.00	2.00
	人件		概算人件費 (C)	22,456	4,129	41,290	16,516
	概算事業費(B(A)+C)		24,697	4,404	55,960	21,936	

	成果目	標の達成	状況			
項目	現況 (見込)		H25			
(共日		目標	成果	達成状況	目標	
耕作放棄地再生面積	51ha	50ha	51ha	達成	50ha	

目標に対 する成果 の状況

耕作放棄地の再生面積は、目標達成となった。

2 今後の事業の方向性

□ 事業を実施しない □ 事業を見直して実施 ■ 事業を現行どおり実施

再生した耕作放棄地の新たな利用者の育成・確保に取組むとともに、地域の農産物の生産販売計画と連携し、一体となった活動を推進していく。